

グローバルM&Aフォーラム クロスボーダーのM&Aと 成長戦略

グローバル化の加速によりクロスボーダーのM&Aや事業提携、プロセスのアウトソーシングを迫られている大企業のCFOを対象に、金融・資本市場に対する国際金融最先端ロンドンの見方や先事例を紹介することでこれからの企業の成長戦略をCFOの立場で考える場を提供致します。

日時 **2008年10月10日[金] 13:00～17:40(開場 12:30～)**
 場所 **パレスホテル ゴールデンルーム(東京・千代田区)**
 対象 **CFO、経理・財務部門幹部等ご招待者限定**
 定員 **200名(定員になり次第締め切らせていただきます)**

主催 **日本CFO協会**

特別協力



オンライン申込にてお手続きください www.cfo.jp/maforum

本フォーラムはご招待者限定となります。お申し込みにはIDとパスワードが必要となります。

P R O G R A M

12:30	開場		
13:00 ～14:00	講演 1 成長を実現するグループ経営とM&A戦略	<p>●講演概要 世界経済、資本市場は現在歴史的な転換期にあり、事業会社の経営に与える影響もまた計り知れない。そうした中で、グループとしての理念を実現し、持続可能な成長を遂げ続けていくために、本質的に押さえていなければならないグループ経営の要諦とは何なのか、またそのために活用可能なM&A等の手法をどう活かしていくことができるのか、といったトップマネジメントイシューを取り上げ、具体例も交えて将来戦略を考察する。</p> <p>松田千恵子 氏 ブーズ・アンド・カンパニー ヴァイス・プレジデント 【プロフィール(まつだ ちえこ氏)】 日本長期信用銀行、ムーディーズジャパン、コーポレートディレクションを経て2006年マトリックスを設立。同年ブーズ・アンド・カンパニー(旧ブーズ・アレン・アンド・ハミルトン)エグゼクティブ・ディレクターを務め、現在同社ヴァイス・プレジデント。「市場適応的な経営」を指向する観点から、資本市場と企業経営との関係性に着目したコンサルティングに注力している。</p>	
14:00 ～15:00	講演 2 英国ビルキントン社買収の事例	<p>●講演概要 当社は2006年6月にビルキントン社を買収し、現在世界のトップグラスメーカーとなった。買収に至る経緯およびその後の経営組織につき、ご説明させていただきます。</p> <p>阿部友昭 氏 日本板硝子 取締役副会長 【プロフィール(あべともあき氏)】 1963年4月、日本板硝子入社、92年6月取締役、98年6月常務取締役、2000年6月専務取締役、02年6月代表取締役副社長、04年6月代表取締役副会長、07年6月取締役副会長(現職)に就任。</p>	
15:00～15:20	休憩 20分		
15:20 ～15:40	ご挨拶 M&Aと成長戦略 ～英国の経験(仮題)	<p>デービッド・ルイス 氏 ロードメイヤー・オブ・ロンドン 【プロフィール】 オックスフォード大ジャーナル・カレッジで法学を学び、1969年より英国の法律事務所ノートン・ローズに所属。民営化、IPO、会社金融、合併・買収、会社金融サービス分野全般についてアドバイスを行い、英国内外で大規模な会社買収案件に多く関与。2007年にシティ・オブ・ロンドンの第680代ロードメイヤー(金融街シティの首長であり、英国金融サービス産業の大使としての役割も持つ)に就任。</p>	
15:40 ～16:40	講演 3 クロスボーダー M&Aの組織・人事面の成功要因	<p>●講演概要 国境を越えた企業の買収や合併が増える一方、本当の意味でシナジー効果が出せている企業は非常に少ないといわれている。M&Aの急拡大に伴い、「グローバルオペレーションの改善」「グローバルに活躍できるリーダーの育成」等、多くの企業が直面している課題も共通している。世界40ヵ国、約180都市に拠点を持つ当社が関わってきたプロジェクトの実例を元に、M&A成功の鍵を握る、組織・人材マネジメントの成功要因について解説する。</p> <p>西口尚宏 氏 マーサー ジャパン グローバルM&Aコンサルティング WWP AP統括 代表取締役 【プロフィール(にしぐち なおひろ氏)】 上智大学経済学部卒業後、ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院(MBA)修了。日系金融機関、世界銀行グループ人事局勤務(ワシントンDC)等を経て現職。2007年マーサーのワールドワイド・パートナーとして、日本企業同士の合併、外資の日本企業投資、日本企業のクロスボーダー M&Aに伴う組織・人事コンサルティングなど、各国の実状に即した幅広い経験を持つ。</p>	
16:40 ～17:10	講演 4 クロスボーダー取引の最新動向と実務上の留意点	<p>●講演概要 海外でM&A等の取引を行う日本企業の留意すべき点： ・グローバルなベストプラクティスを見極め、それを利用 ・マーケット毎に異なるM&Aの条件の違いを有利に活用 ・近時の金融不安がM&Aにもたらす影響を考慮 ・文化・社会習慣の相違に伴う障壁・期待の認識</p> <p>ジェームズ・ウッド 氏 フレッシュフィールドズブルックハウスデリングー東京オフィス パートナー 【プロフィール】 イングランドおよびウェールズにて弁護士登録。日本にて外国法事務弁護士登録、第一東京弁護士会所属。オーストラリア、シドニーの法律事務所を経て、1996年フレッシュフィールドズブルックハウスデリングーのロンドンオフィス入所。2001年パートナーに就任。07年より東京オフィス勤務。公開会社・非公開会社のM&A、会社分割、および企業金融法務を専門とする。</p>	
17:10 ～17:40	講演 5 クロスボーダー M&A成功のポイント	<p>●講演概要 不確実性が高く変化の激しい環境にもかかわらず、今年に入り日本企業の海外M&Aが急増している。グローバルなメガトレンドを俯瞰し、日本企業の戦略的投資の成功事例などを踏まえながら、クロスボーダー取引のメリットとリスクについて考え、クロスボーダーを成功するための要因を改めて整理してみたい。</p> <p>齋藤進一 氏 アンストアドヤング・トランザクション・アドバイザリーサービス 代表取締役 【プロフィール(さいとう しんいち氏)】 日本の大手総合商社に32年間勤務した後、米国会社副社長兼CFO、執行役員財務部長、執行役員広報・IR部長等を歴任。2003年、EY(TAS/Ernst & Young Transaction Advisory Services Co., Ltd.)の前身であるEYGFS(Ernst & Young Global Financial Service)にマネージングディレクターとして入社。現在EYグループにおける日本でのアドバイザリー業務を担当するEYTASの代表取締役として、主要クライアントの内外の活動を支援している。</p>	
17:45	レセプション		

リードスポンサー

プラチナスポンサー

ゴールドスポンサー

